

カネがないなら、頭を使え、手を動かせ

内閣官房参事
松本歯科大学常務理事
特命教授 飯島 勲

『プレジデント』7月16日号「リーダーの掟 飯島勲より、幼少期を含めおカネの苦労が絶えなかった飯島先生が、人生に活路を見出したノウハウの記事を要約して紹介します。

小学生だった当時、あまりおカネのある家庭でなかった私は、学校が終わると納豆を売りに、家族4人に全員分だといつて1箱（5個入り）を置いてくる。それを皮切りに同級生、先輩、知人の家ぜんぶを戸別訪問すれば20個、30個ぐらい簡単に納豆セールスになった。

納豆で儲けた私はより利幅の大きいアイスクリームを売ってひと儲けしようと考えた。次のターゲットは草野球をやっている人たちで、一カ所に大人数を集まっているので効率がいい

を片方だけにして、銀杏の葉っぱの形にしてフリルをつけた。最終選考までいったが、あと一歩のところで当選には至らなかった。今考えると、イチヨウにばかり気をとられずに全体を手抜きせずに描いていたら、当選したかもしれない。



飯島先生にも苦労の過去があった

18歳になって東京へ上京してからは、銀座で絵を売ろうとしたこともあったし、デパートの「PARCO（パルコ）」でファッションデザイナーを募集していた、私も応募したことがある。私が考えたのが「イチヨウルク」というもので、婦人服の襟

くなっているのに、値段が高い（笑）。でもこれも飛ぶように売れた。右ハンドルの車の左側に付けるポール、この先端を光らせたらどうなるかと思ったり、やっぱりおカネになった。

今となっては違法になってしまったが、クルマの排気ガスを走るマフラーを細工して、走るものすごい音がする仕組みも売れた。アイデア一発で売れたのは、「ドライバー手袋」だ。

よく売れたのは、後付けのヘッドレスト（座席の頭部を支える部分）。今では当たり前にな

理工学講座・黒岩昭弘教授が大会長 第38・39回日本顎咬合学会学術大会開催



右から黒岩大会長、堀ちえみさん、今井座長

日本顎咬合学会の理事長である本学理工学講座・黒岩昭弘教授が大会長となり、第38・39回日本顎咬合学会学術大会・総会が6月12日（土）から21日（月）にかけて、Web形式（オンデマンド）で開催された。テーマ

は「真・顎咬合学今こそ団結！臨床力を磨く」で、コロナ禍における会員の絆を再構築し、発表によって卓越した臨床力を磨くことへの思いを込めた。

特別公演は、テキサス大学 San Antonio Health Science Center 歯周病学講座の Brian L. Meeker 教授に「歯周の健康と全身の健康とのつながり」について講演していただいた。

公開フォーラムIでは「超高齢社会における歯科の役割」と題し、義歯・咀嚼・自立の相互関係や口腔と認知症との関わりについて論じられた。さらに公開フォーラムII「口腔がん」では、日本歯科専門医機構の今井裕理理事長が座長を務め、タレントの堀ちえみさんが舌がんの告知から手術を経てリハビリに至る経緯を語った。

6月13日（日）に今年初めての一日体験入学が開催され、4組10人が参加した。参加者には事前に体温チェックと抗原検査を受けていただき、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえでの実施となった。

第6学年の春日 梢さんが学生の視点で本学の魅力をプレゼンテーションし、6年間の学習の流れ、自然豊かなキャンパス、活気あふれる「松濤祭」や体育祭、クラブ活動、中国河北

つでも何度でも聴講できるといって紹介した。本学の特色としては、①教員は学生との距離が近く親身になって指導してくれる、②ウィークリーテストで学習習慣が身に付き、③単科大学なので学生全員が同じ目標を持って頑張っていることなどを挙げた。その後のキャンパスツアーでは学内の充実した各種施設を案内した。



自己紹介する案内役の学生たち

歯学部「一日体験入学」を開催 在学生が本学の魅力・特色をプレゼン

歯学部は、伊比篤技工士がチタン冠技工の研磨を中心に紹介した。黒岩大会長は「通常開催では講演数が多くすべての講演を聞くことができないが、今回は

「患者は黙ってオレにまかせていけばいいのだ」といった家長的な doctor oriented の医療スタイルはすでに過去のもので、今や患者が主役 patient oriented が当然とされ、QOLの維持向上が重要視される時代となったのだ。

創立者の「視点」



大学誌編集主幹 特任教授 笠原 浩

前回、ここ数十年の間に日本国民の歯科医療に対する見方が大きく変貌したことを記した。医療全般についてもそうなのだが、一言でいえば「Care から Cureへ」の流れである。

半世紀前には「病気の治療」と「救命」が医療の至上目的であり、そのためには患者の苦痛や意思などは無視してもよいと考えられ、筆者らはそのように教育された。たとえは、回復不能な末期がん患者に対する多大な苦痛を伴う延命処置であっても、それを施すのが医師の務めだとされ、実際に強行されていた。patient should be patient（患者＝我慢すべき者）だったのだ。

かつて「近くに住んでいる人が自分の歯科医院の前を通り過ぎて、他のクリニックを受診するのは耐え難い」と、新規開業抑制論を唱え、歯科大学定員削減を推進された歯科医師会幹部の先生がおられた。お気持ちは分らないではないが、村に一人はだれもがそのお世話になるしかなかった時代はすでに過去のものだ。

歯科医療は変わった！ (その2)

健康や医療に関する情報が普及し、交通機関も発達した現代では、少々離れたところでも「良なお医者さんを選んでかかる」のがすでに常識となっている。「10円違えば主婦は300メートルは歩く」と言われる。スーパーのチラシの商品の価格差の話である。日常的な買い物でさえ品質や価格を気にする人が多くなった。自分の健康を預ける医療者を慎重に選択するのは当然だ。

患者が来なくて倒産するクリニックもあるようだが、その一方では予約がなかなか取れないほど繁盛している歯科医院も多いのだから、これは歯科医師過剰のためではない。患者に逃げられないという先生へのほうこそ問題がある。

「歯科医学研究」学生たちの研究成果 『Scientific Reports』にオンライン掲載



左から高坂さん、浮田君、植野君、三浦君、別枠上から大毛君、中田君

本学歯学部6学年の植野裕司君、浮田英彦君、高坂怜子さんと、第5学年の三浦佑樹君、2020年度卒業生の大毛翔吾君、中田智是君らの研究成果が、『Scientific Reports』にオンライン掲載された。第2・3学年の選択科目「歯科医学研究A/B」で取り組んだ研究課題で、溶血性細菌が歯周病原細菌を抑制することを明らかにした。口腔微生物に関して高度な知識が求められる歯科医師を目指して、今後の活躍が期待される。

本学歯学部第6学年の植野裕司君、浮田英彦君、高坂怜子さんと、第5学年の三浦佑樹君、2020年度卒業生の大毛翔吾君、中田智是君らの研究成果が、『Scientific Reports』にオンライン掲載された。本研究は、微生物学講座における歯科医学研究A/B講義の一環で行われた研究であり、学生らは自らの唾液を血液寒天培地に塗布し培養した時に、溶血活性を持つ細菌が多く存在することに興味を持ち、溶血性細菌

に着目することとなった。口腔内環境が健康者と異なる歯周病患者の唾液中の口腔細菌による溶血性を詳しく調査することに より、歯周疾患と溶血性細菌の関連性が示されると予想し、本研究がスタートした。健康者と歯周病患者の唾液中の溶血活性を持つ細菌を調べたところ、Genella属に分類される細菌が数多く同定された。また、Genella haemolysans が、歯周病患者の唾液中で健康者よりも有意に減少しているという興味深い結果が得られた。このことから本菌が歯周病細菌を抑制しているのではないかと予想し、歯周病原細菌である Porphyromonas gingivalis に対する本菌の阻害活性を測定した。

その結果、本菌は多くの細菌の生育には影響せず、Porphyromonas gingivalis の増殖を特異的に抑制するということが示された。本菌の歯周病原細菌を抑制する特性は、今後、歯周病治療や歯科保存学講座・吉成伸夫教授は6月21日(月)、一般社団法人日本レーザー歯学会の理事長に就任した。本学会は、1989年に第1回日本レーザー歯学会研究大会が開催され、一般会員195人、賛助会員3社にてスタートした。92年から正式に日本レーザー歯学会を標榜し、2007年には日本歯科医学認定分科会に加入が認められて順調に発展してきた。13年には法人格を取得し、一般社団法人日本レーザー歯学会となり、17年には日本歯科医学専門分科会に昇格した。現在は864人の会員を擁する。同学会のミッションは、レーザーに関連する学際領域とともに、国民に良質かつ安心・安全な歯科医療を提供することにある。

健康な口腔環境維持に活用利用できるのではないかと期待が膨らむ。学生らは、当該研究を通して、「教科書で学ぶ以上の深い知識と、講義では得られない体験を数多く経験できた」と語っており、口腔細菌へのさらなる関心を高めた。(微生物学講座 講師 三好智博)

日本レーザー歯学会理事長に就任



日本レーザー歯学会のホームページ

門分科会に昇格した。現在は864人の会員を擁する。同学会のミッションは、レーザーに関連する学際領域とともに、国民に良質かつ安心・安全な歯科医療を提供することにある。

病院だより vol.33

シリーズ 専門性⑧

薬局(薬剤師)

『薬剤師』ってどんな仕事をしているのでしょうか。「薬」って付くから「薬」に関係した仕事をしているのだからな...と多くの人は思っておられるでしょう。薬剤師は名前の通り「薬の専門家」として安心できる薬の提供を通じて、患者さんに寄り添っています。錠剤、散剤、液剤、外用剤

注射剤：様々な種類の薬があり、保険が使える薬・「薬価基準」に収載されている医薬品の総数は約1万4千品目もあります。どんなに良い薬であっても、正しく安全に使われなくては意味がありません。患者さんに安心して薬を使い、薬の効果を実感して頂けるよう努めています。病院での薬剤師の業務は多岐にわたります。

【調剤】 医師からの処方に基づき発行された処方箋・注射箋について、薬の種類や投与量が適切かどうか、飲み合わせ・相互作用の問題はないかなどを確認し調剤します。

【調剤監査】 調剤された薬に間違いがないか、再度確認します。

【服薬指導】 患者さんに薬の正しい服用方法やタイミングなどを個別に説明します。また、薬によっては食品や他の薬と飲み合わせに問題のあるものもあるので、それらも含めて説明します。

【製剤業務】 院内製剤とは、薬剤師により病院内で調整され院内で使用される製剤です。無菌での調剤を必要とするものもあります。

【医薬品管理業務】 薬の在庫管理を行う業務です。在庫管理以外にも、薬の使用期限や保管状況(保管温度、遮光などの保管条件)の確認も行います。

【医薬品情報業務】 医薬品を安全かつ適正に使用するために、投与方法・投与量・副作用・相互作用などの情報を収集し、その情報が適切かどうか評価していく業務です。収集した医薬品情報は、医薬品集、

やタイミングなどを個別に説明します。また、薬によっては食品や他の薬と飲み合わせに問題のあるものもあるので、それらも含めて説明します。

院内で発生した副作用情報の収集・報告も大切な業務の一つです。新たに見つかった副作用

を厚生労働省に報告することにより、厚生労働省から安全性情報が発信され、様々な医療機関や製薬企業の間で情報共有することになります。こうして医薬品の安全性がより高まります。

【各種委員会活動】 薬剤委員会、院内感染対策委員会、医療安全委員会などの委員会に所属し、各種委員会活動や資料作成、情報提供等を行います。

【業務マニュアル作成・見直し】 業務マニュアルの作成・見直しを行うことで、業務の適正化を図ります。

以上、主な業務について述べましたが、今年以上に「新型コロナウイルス」の管理という重大な業務もあります。政府から分配されるワクチンを適正に管理・保管し、限られたワクチンを有効に接種できるように努めています。これらのワクチンの有効性は非常に高く、発症予防効果が約95%とされています。デメリットとしては、分解されやすいため低温での保存・運搬が必要です。

現在、住民接種と職域接種が行われておりますが、各ワクチンのメーカーが異なります。ワクチンによって保管場所や温度管理・調整及び用量についても違いがあります。こういった面からも、取り扱いには細心の注意を払い、かかわるスタッフ間で情報を共有し、協力しながら接種を進めています。



ファイザー製ワクチン モデルナ製ワクチン

【業務マニュアル作成・見直し】 業務マニュアルの作成・見直しを行うことで、業務の適正化を図ります。

以上、主な業務について述べましたが、今年以上に「新型コロナウイルス」の管理という重大な業務もあります。政府から分配されるワクチンを適正に管理・保管し、限られたワクチンを有効に接種できるように努めています。

【業務マニュアル作成・見直し】 業務マニュアルの作成・見直しを行うことで、業務の適正化を図ります。

【業務マニュアル作成・見直し】 業務マニュアルの作成・見直しを行うことで、業務の適正化を図ります。

ご尊霊に対しご冥福を祈る 大学墓地でしめやかに納骨式



納骨式での法要

解剖学実習は、人体各部の基本的構造・形成・機能などを学ぶ事はもちろん、生命の尊厳や、身体の内臓などについても学び、第2学年の9月から、翌年2月までの6ヵ月間にわたって行われています。

6月3日(木)、解剖学実習のため献体いただいたご遺骨のため、大学墓地において執り行われた。新型コロナウイルス感染症のため、昨年につき解剖学実習が中止となり、ご遺骨の納骨式が今年初めて執り行われた。ご遺族の皆様には、ご冥福を祈るとともに、ご遺骨の納骨式が今年初めて執り行われたことをご報告いたします。

ご遺骨は丁寧に納骨され、解剖学実習並びに病理学講座の教員らが参列して法要を行い、順に焼香し手を合わせた。挨拶に立った解剖学講座の金銅英二教授は「故人およびご遺族をはじめ多くの皆様を支えられ、学生は勉強させていただいていますが、今後も学生には、多くの方々のご協力を得て成長できていることを自覚し、感謝の心を忘れずに一層の研鑽を積むよう指導してまいります」と哀悼とともに誓い、感謝の言葉を捧げた。

Alumni News

松本歯科大学校友会

聖火を真備町復興の希望の光に 水川正弘先生(9期生)が聖火をつなぐ



トーチに聖火をともす水川先生

設置した仮設トイレを近隣住民に開放し、井戸の水も提供して、共助の精神で地域に貢献して来られた(詳細は本紙416号に掲載)。

カルテ1万人分も泥につかっ
てしまい、スタッフとカルテを
1枚ずつ丁寧に水で洗っては乾
かす作業を
繰り返すた
びに、カル
テに記載さ
れた患者さ
ん一人ひと
りの顔が浮
かんできた。
地域の人々
から歯科医
院再開の時期を聞かれることも
度々あり、「待っている人のた
めに1日でも早く再開しよう」
と心に決め、2018年の秋に
は元の場所でも再開にこぎつた。
趣味であるマラソンのトレ
ニングで走っていた小田川堤防
が決壊し、ランニングコースの
街並みも田園風景も失われ、大

西日本豪雨で被災した水川
正弘先生(9期生)は5月20日
(木)、東京オリンピックの聖火
ランナーとして次のランナーに
聖火を受け渡す「トーチキス」
を行い、復興への願いを込めた。
岡山県倉敷市真備町で33年間
地域と共に歩んできた水川先生
の歯科医院・自宅は2018年
7月の西日本豪雨で全壊した。
水川先生はその片付けのために

「歯科医院を再開し地域医療
に貢献すること。そして修復さ
れた小田川の堤防を再び走り始
めることが被災した人々を励
まし、復興につながる。再び歯
科医師として、ランナーとして
走り始めよう。被災された皆さ
んと共に、希望の道をつなぎ、

希望の光になれば」との思い
で聖火ランナーを務めることに
なった。
残念ながら、岡山県内での聖
火リレーは、新型コロナウイルス
の感染拡大のため公道での
実施は中止となり、津山公園グ
ラウンド(津山市)で代替の
式典となった。あいにくの雨の
中、県内12市町村83人のランナ
ーの一人として水川先生も参加
した。リレーは走れなかったが、
セレモニーで聖火をつなぐ「ト
ーチキス」を行って、笑顔を絶
やさず周囲にピースサインを送
った。

コロナ禍の中で開催される東
京オリンピック。患者さんの多
くが復興への不安を抱え、当た
り前だった日常生活は今さまざ
まな自粛が求められている。そ
んな現状に鑑み、水川先生は「あ
きらめること、やめることのほ
うが簡単かもしれません。しか
し、皆で知恵を出し合い、様々
な困難を乗り越えてきたのが人
間です。地域の皆さんで助け合

7月1日(木)に第91回松本
歯科大学学会ならびに総会が開
催された。はじめに本館601
教室にて松本歯科大学学会評議
員会ならびに総会が行われた。
議題では庶務、集金、編集、会
計の幹事長から報告があり、2
019年度決算に続き、202
0年度事業報告と予算、役員改
選について審議がなされ承認さ
れた。なお、2022年度の学
会開催についても審議がなさ
れ、第93回学会(総会)は20
22年7月7日(木)、第94回
学会(例会)は12月1日(木)
に開催されることも決定した。
第91回学会はポスター発表で

つて来て真備町の今がありま
す。聖火が復興の希望の光にな
れば嬉しい。聖火リレー、そし
てオリンピックが無事開催され
た」と語った。

ることがきつと明るい未来につ
ながると、聖火の炎を見つめな
がらそんな思いが頭に浮かびま
した」と語った。

永澤 栄特任教授が写真集『冒険と花園』を出版 登壇歴54年の集大成美しく雄大な写真を満載

理工学講座の永澤 栄特任教
授は、岩壁や雪稜などを登るア
ルパインクライミング(登攀)
に長年挑み続け、その集大成と
しての写真集『冒険と花園』を
tmc出版から出版した。



写真集を手にする永澤特任教授

1971(昭和46)年には山
岳登攀を主目的とした「クライ
ミング・メイト・クラブ」の創
立会員となり、国内では日向山
岩峰をはじめ先人未踏の数々の
岩壁初登攀に成功。海外遠征で
はネパールをはじめ中国、フラ
ンス、イタリア、スウェーデン、
ノルウェー、カナダ、オースト

リア、アメリカなど世界13カ
国の有名、無名のルートに挑
み続けている。
永澤特任教授は「登攀は己と
の戦いそのもの。生と死の境を
なんとか乗り越えたときの強烈
な生の喜びを知ってしまったか
らこそ、延々と登り続けてきた
のだと思う。山を通じての多く
の経験が、今の私を造っている
と言っても過言ではない」とこ
れまでの道のりを振り返る。山
と共に過ごした時間は通算で約
6000日。登攀に携えていく
のは胸ポケットに納められるキ
ャノンのズーム付きコンパクト
カメラで、記録用に撮ってきた
写真は7万枚にもおよぶ。

「登攀する人間でない」と見ら
れない雄大な岩肌や美しい光
景、そして登攀を通して感じた
生の喜びを多くの人に届けた
い」との思いから、同写真集を

出版した。
写真集は、雨にうがたれて巖
模様となった白馬乗鞍岳の雄大
な雪渓、八ヶ岳の水瀑、チユ
レンマヒール南稜(ネパール)、
クリスタル山の山頂やチベッ
タ山群(ドロマテ)「高さ125
0m」、世界最難の壁と呼ばれ
たチマスコートニ山、マルモ
ーダ南壁の大岩壁など、圧倒的
な絶景が展開する。

「ボロボロと崩れ引き返すこ
とのできない岩壁を数100メ
ートル登り、尾根に広がるウス
ユキノウの群生を見た時は心底
美しいと思った。雪と氷と岩の
世界だけのネパール遠征から戻
り、麓の峠でラリーグラス(ネ
パールの石楠花)の咲く草原を
見た時はうれしくて、人間は緑
がなければ生きられないのだと
悟った」と、あとがきで綴られ
ているように、冒険に満ちたシ



フェラータの頂き(ベッリーノ峰・イタリア)

インのほかエーデルワイスやコ
マクサの花々、山の街コルチナ
の風景などが和む写真も取め
られている。
同写真集は、本学北棟売店、
実習館売店で販売している。判
型「変形B5判、総頁数」80ペ
ージ、定価「2200円

今回の学会でも優秀発表賞を
設定し、事前に評議員には投票
用紙を配布し、自由討論前に審
査結果を提出していただいた。
その結果、歯学部第3学年の大
堀千郷君が優秀発表賞を受賞し
た。大堀君は、微生物学講座の
三好智博講師、吉田明弘教授の
指導を仰ぎ、「菌周病原菌と競
合する微生物」その探索と発見
」についての研究であった。
発表では、採取した4種類のキ
ノコをPBS溶液に浸し、その
溶液を寒天培地に塗布し培養す
ることで、4種類の微生物が得
ることができた。キノコから単
離された細菌は、大腸菌と比較
し、低い培養温度(10℃)でも
増殖可能であり、抗生物質の感
受性も異なっていることを報告
し、16S rRNAデータベー
スとの比較により、これらの細
菌は、Serratia属 Klebsiella

第91回学会はポスター発表で

第91回学会はポスター発表で

第91回学会はポスター発表で

第91回学会はポスター発表で

第91回学会はポスター発表で

第91回学会はポスター発表で

第91回学会はポスター発表で

Matsumoto Dental University SNS Information

LINE

twitter

Instagram

facebook

人事異動

6月30日付

〔退職〕
古畑 貴子 臨床検査技師(口腔材料) 齋藤 薫
〔契約満了〕 6月30日付
矢島由佳里 (事務局長補佐(パートタイム))
吉田 千恵 (薬局薬剤師(パートタイム))

〔採用〕
7月1日付
吉田 裕哉 (講師(歯学部材料補修講座))
石橋 美紀 (事務局長補佐(契約職員))
市枝 知里 (事務局長補佐(契約職員))
廣田 順 (法人総務 事務(派遣職員))
7月8日付
鹿崎 幸恵 (法人総務 事務(派遣職員))
〔配置換・兼務〕 7月1日付
岡藤 範正 (教授(歯学部材料補修講座))

8月行事予定

1日(日)16日(月)
夏季休業(大学院)
1日(日)24日(火)
夏季休業(衛生学院)
17日(火)
後期授業開始(第4学年)
20日(金)9月3日(金)
定期試験(第2、3学年)
22日(日)
一日体験入学(歯学部)
23日(月)9月3日(金)
定期試験(第1学年)
31日(火)9月10日(金)
定期試験(衛生学院第2学年)

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

① 8月 1日(日) ② 8月22日(日)
③ 9月 5日(日) ④ 9月26日(日)
※8・9月開催のみ掲載

開催時間 9:30~15:00 (受付9:15~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験
●模擬実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページ
または下記までご連絡ください。

お問い合わせ

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp